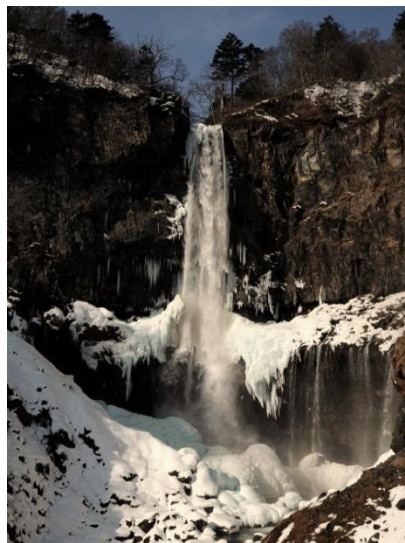


めぶきフィナンシャルグループ 個人投資家さま向け会社説明会

平成30年2月-3月



栃木県の観光名所

① 写真の表題 ② 撮影地

① 足利フラワーパーク
藤ライトアップ

② 足利市



① 華厳の滝(冬)

② 日光市

① 鬼怒川温泉街

② 日光市鬼怒川温泉



① 蔵の街遊覧船

② 栃木市



茨城県の観光名所(常陽フォトコンテスト受賞作品)

① 写真の表題 ② 撮影地

① クライマックス

② 土浦市
(土浦全国花火
競技大会)



① 木漏れ日を抜けて

② 日立市
(御岩神社)

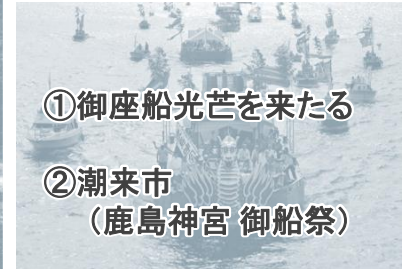
① 百段のお出迎え

② 大子町
(十二所神社
百段階段ひな祭り)



① 御座船光芒を来たる

② 潮来市
(鹿島神宮 御船祭)



目次

1 めぶきFGについて

めぶきフィナンシャルグループの概要	5
めぶきFG発足後の歩み	6
茨城・栃木両県の経済的ポテンシャル	7
営業エリアのマーケットポテンシャル	8
店舗ネットワーク	9
地方銀行業界での位置	10

2 事業戦略

両行の強みを生かした事業戦略	13
広域連携支援の展開	14
個人のお客さま	15-16
法人のお客さま	17-18
ITを活用したお客さまの利便性向上	19
業務の効率化	20
店舗の効率化と付加価値向上	21
めぶきリース・めぶき証券	22
事業戦略に基づいた施策・シナジー実績	23

3 業績予想・株主還元

29年度業績見通し	25
自己資本比率	26
株主還元 配当政策/株主優待制度	27
株価の推移	28
(ご参考)株主の状況	29

4 地域貢献ほか

地域創生への取り組み	31
ESGの取り組み	32-33
(ご参考)常陽銀行と足利銀行の関係性	34
(ご参考)ホームページのご案内	35
(ご参考)用語集	36-37

このページは「空白」です。

1. めぶきFGについて

2. 事業戦略

3. 業績予想・株主還元

4. 地域貢献ほか

めぶきフィナンシャルグループの概要

1 2 3 4

常陽銀行・足利銀行を傘下に置く金融持株会社として28年10月に発足

会社概要

上場	東京証券取引所（証券コード:7167）
統合日	平成28年10月1日
従業員数（29年6月末）	6,603名（外、平均臨時従業員数 3,550名）
総資産（29年12月末）	16兆7,094億円
自己資本比率（29年12月末）	10.87%
時価総額（30年1月末）	5,836億円

格付情報

格付投資情報センター（R&I）

めぶきFG	常陽銀行	足利銀行
A	A+	A+

ムーディーズ

常陽銀行
A2

主要インデックスへの採用

JPX400（平成29年8月31日組入）
日経株価指数300
日経500種平均株価
TOPIX、MSCIジャパン など

グループ体制



めぶき F G 発足後の歩み

1

2

3

4

平成33年度の統合シナジー150億円を実現すべく前進を続けている



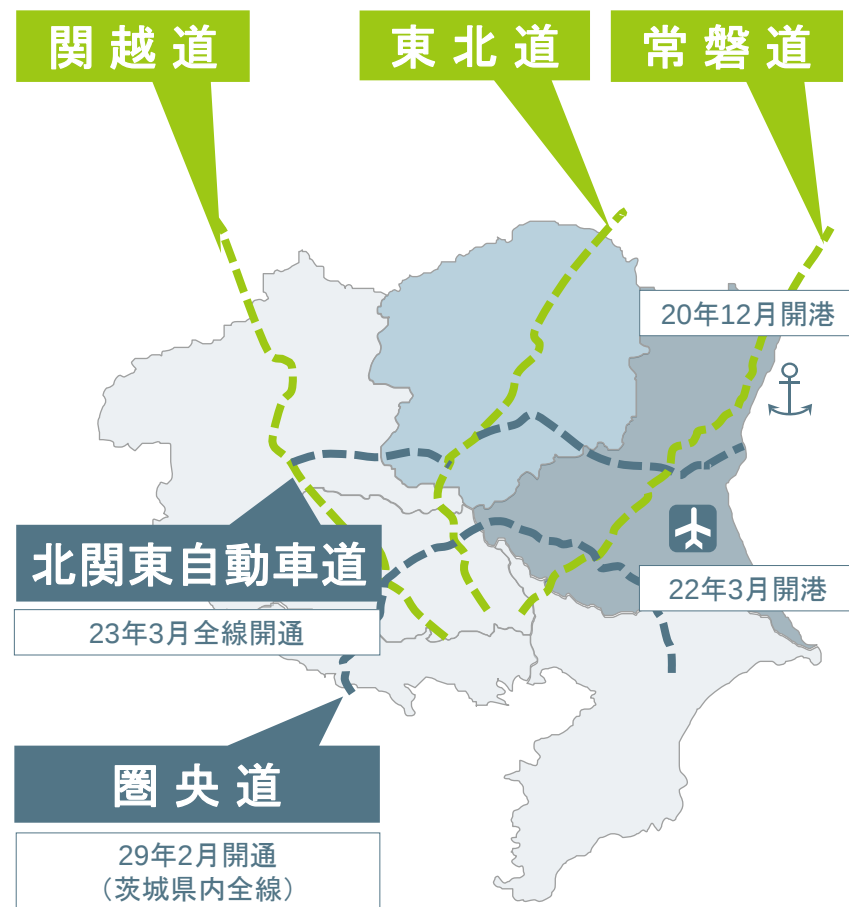
茨城・栃木両県の経済的ポテンシャル

1 2 3 4

交通網の整備に伴い、マザーマーケットのさらなる発展が期待される

交通網の優位性

高速道路の連結により、広域ネットワークを形成



企業誘致のポテンシャル

工場立地敷地面積



* 経済産業省「28年工場立地動向調査(速報)」

経済指標

茨城県

栃木県

人口	291万人	11位	197万人	18位
GDP 名目県内総生産	11.5兆円	11位	8.2兆円	16位
一人当たり県民所得	313万円	8位	325万円	5位
事業所数	12.2万事業所	12位	9.1万事業所	20位
製造品出荷額等	11.2兆円	8位	8.1兆円	12位
農業産出額	4,549億円	2位	2,723億円	9位

営業エリアのマーケットポテンシャル

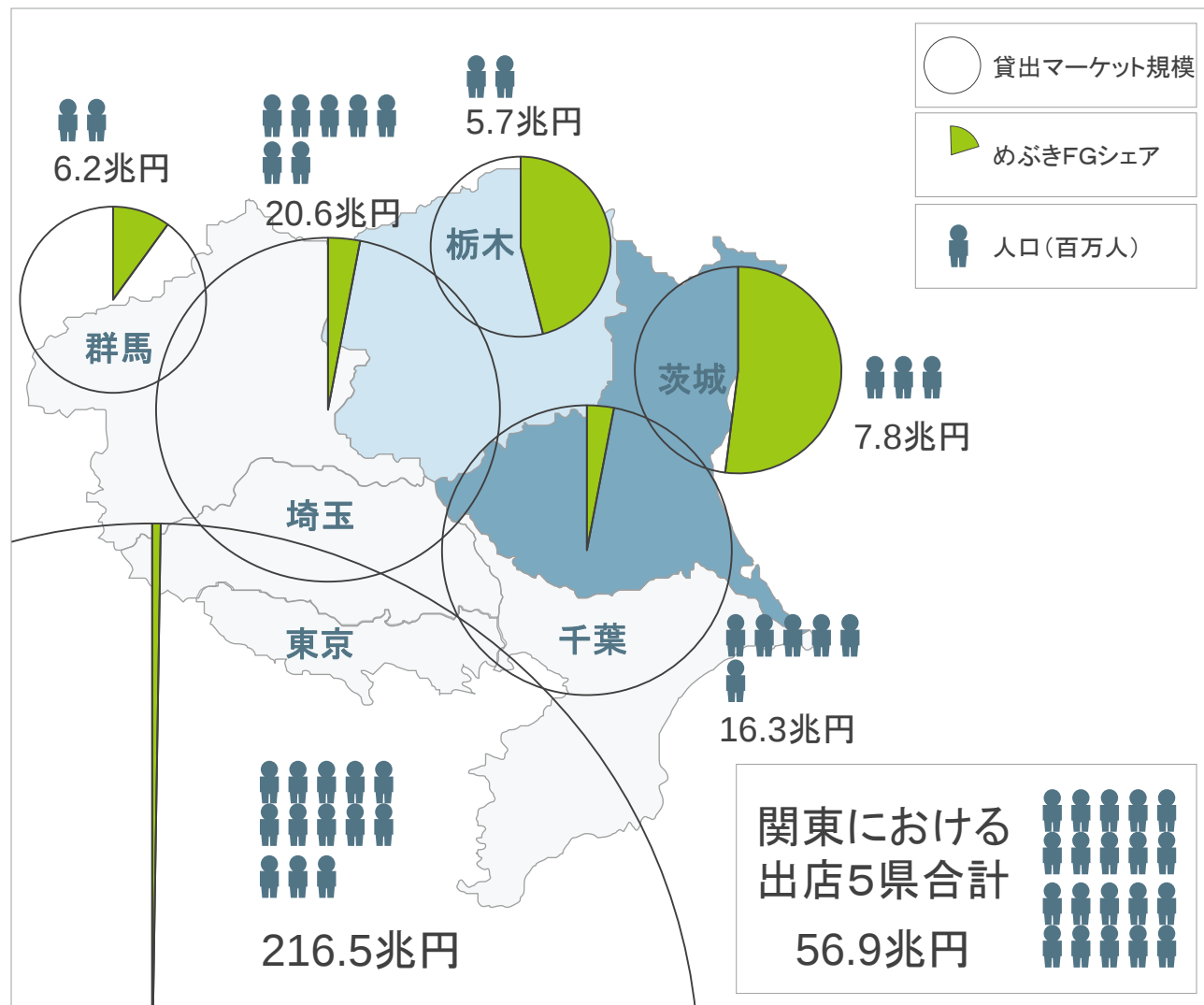
1

2

3

4

茨城県・栃木県と隣県におけるマーケットポテンシャルは大きい



マザーマーケットである
茨城県・栃木県で
圧倒的なシェア

千葉県・埼玉県など
隣県マーケットの規模は
大きい

ネットワークを生かし
東京のマーケットとも連携

店舗ネットワーク

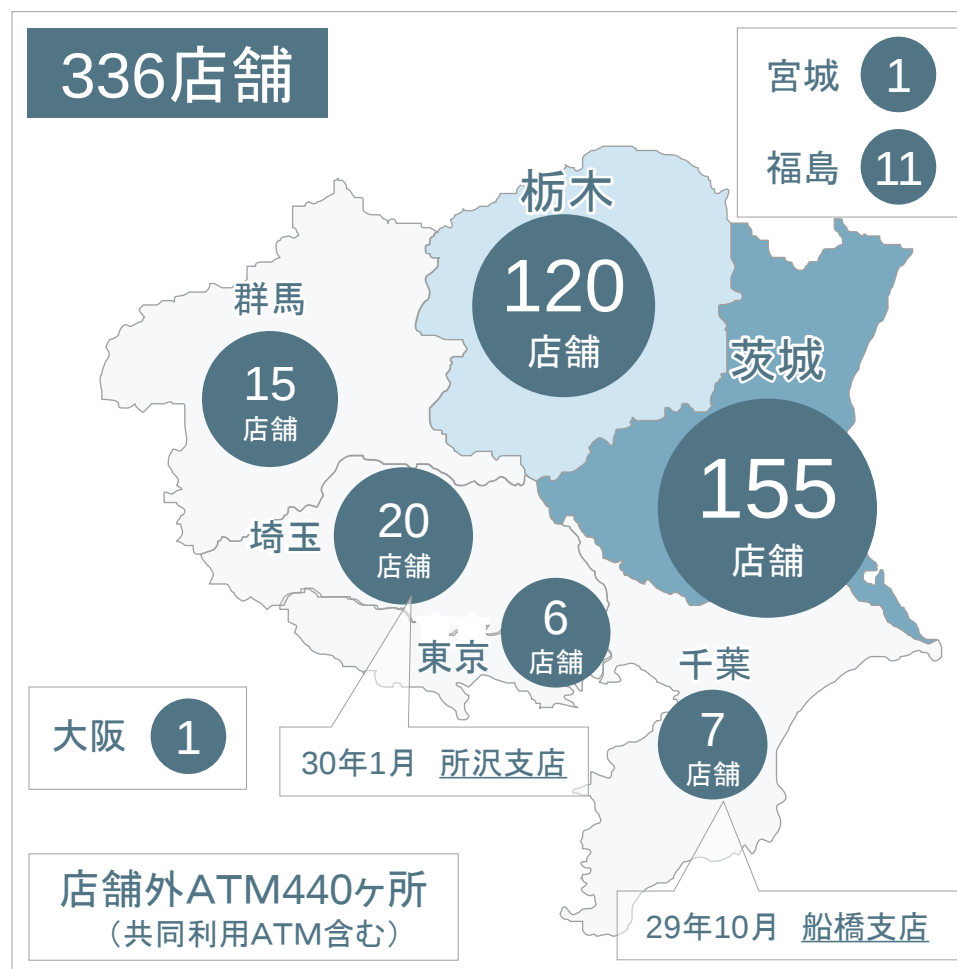
1 2 3 4

(30年1月末現在)

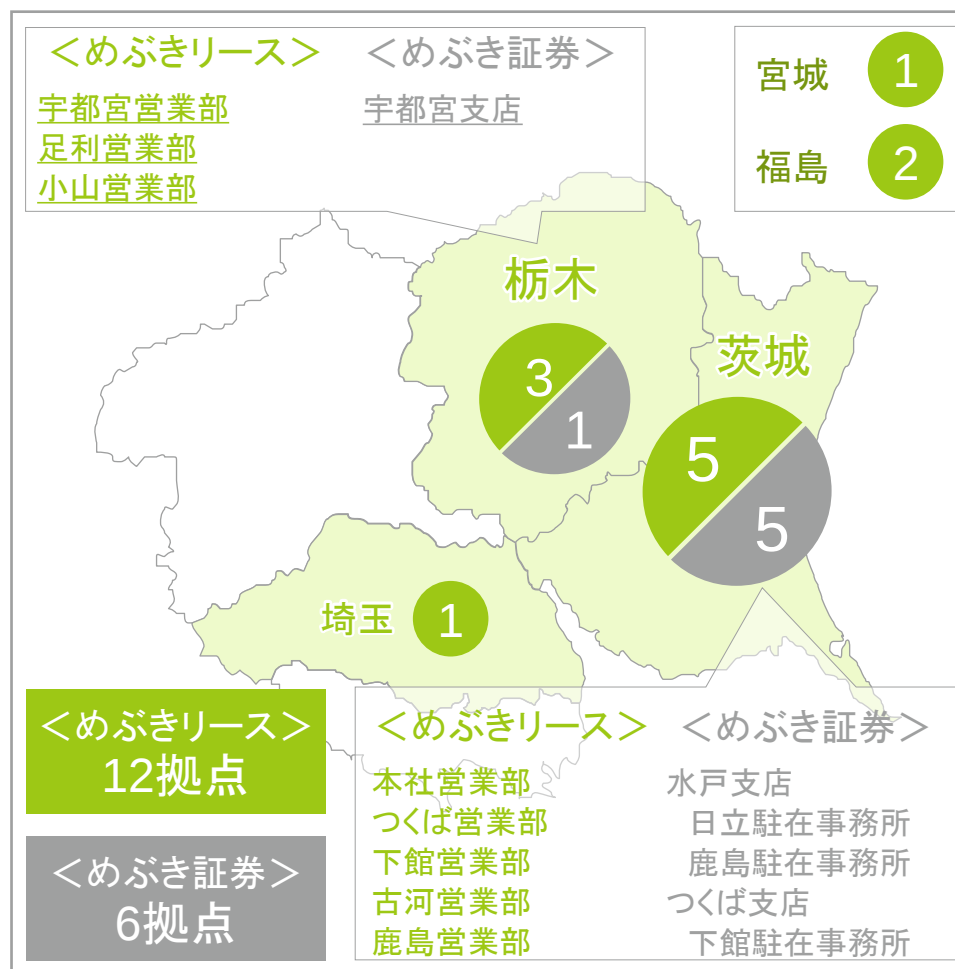
33年度までにグループ全体で15カ店の新規出店を計画。

* 下線が経営統合(28年10月)後の新規出店

銀行の支店数(2行計)



めぶきリース/めぶき証券



地方銀行業界での位置

1

2

3

4

お客さまのご支持に裏打ちされた資産規模が強み

資産規模

預金残高

コンコルディアFG

MEBUKI
めぶきフィナンシャルグループ

13.8兆円

2位

ふくおかFG

千葉

ほくほくFG

貸出金残高

コンコルディアFG

ふくおかFG

MEBUKI
めぶきフィナンシャルグループ

10.3兆円

3位

千葉

静岡

メインバンク先数

MEBUKI
めぶきフィナンシャルグループ

31,443 社



ふくおかFG

ほくほくFG

北洋

千葉

(株)東京商エリサーチ「企業のメインバンク調査(2017年)」

このページは「空白」です。

1. めぶきFGについて

2. 事業戦略

3. 業績予想・株主還元

4. 地域貢献ほか

両行の強みを活かした事業戦略

1

2

3

4

両行の強みや地の利を最大限に活かし、持続的な成長を目指す

常陽銀行の強み

足利銀行の強み

事業戦略

営業地盤
(茨城・栃木)

人口 **291万人**
工場立地面積 **1位**
農業生産 **2位**
空港・港湾

人口 **197万人**
工場立地面積 **10位**
多くの観光資源

地域と首都圏をつなぐ交通網

成長性のある経済圏での
プレゼンスの拡大

広域での地方創生による
さらなる地域経済の拡大

チャネル

圧倒的地域シェア / 地元自治体とのリレーション

広域ネットワークの形成
2都府7県 336拠点

エリア・チャネルのさらなる拡充

サービス

総合金融サービス

コンサルティング営業

総合金融サービス拡大

専門分野のノウハウ共有

オペレーション

先進的マーケティング

ローコストオペレーション

マーケティング高度化

オペレーションの革新

財務

厚い自己資本

低い経費率

戦略的な資本活用

広域連携支援の展開

1 2 3 4

両行合わせたメイン取引先は約3万社。広域ネットワークを活用し、お客さまの売上高・利益向上に向けたコンサルティング力を強化。



新規出店と重点エリア

新規出店 | H33年度までに15店舗程度(リース・証券含む)

店舗ネットワークの拡充

成長ポテンシャルの取り込み

想定エリア | 千葉北西部、埼玉南部、東京、TX沿線

地域社会の
課題を解決

主な取組内容

広域ネットワークの活用促進

ビジネスマッチングの広域化
外部専門家等との連携 等

産業育成／新事業創出

産業育成・新事業支援プランの共同化
ビジネスコンテスト
技術コーディネーター活用
首都圏・海外への進出支援、企業誘致 等

地域のブランド化

食・農/観光への投資連携事業の創出支援
地域資源を活用した新商品開発支援 等

地公体との連携

商店街活性化、移住定住促進策提案 等

個人のお客さま

1

2

3

4

ライフプランに合わせたご提案



当社グループがご提供する商品

普通預金	給振指 定	マイカー ローン	住宅 ローン	教育 ローン	資産 運用	年金 指 定	遺言 信託
ポイントクラブ (サービス)	インターネット バンキング	ブライダル ローン	火災 保険	常陽教育ローン	保険商品 ふるはと ジョーplus	資産運用のご案内	
各種キャンペーン	クレジットカード デビットカード	フリー ローン	積立 商品	お子様の 学び気持ち、 応援します！ 年2.4%3.975%	お金の のこせる ふやせる つかえる	オトナ女子のための マネーセミナー	
資産運用 START!	常陽銀行の個人向け インターネットバンキング アクセスジェイ	お忙しいあなたに！		常陽銀行の個人向け インターネットバンキング アクセスジェイ	2018.1.28 SUN 14:00-15:30 【ホテル東日本本館】3F 日光		

個人のお客さま

1

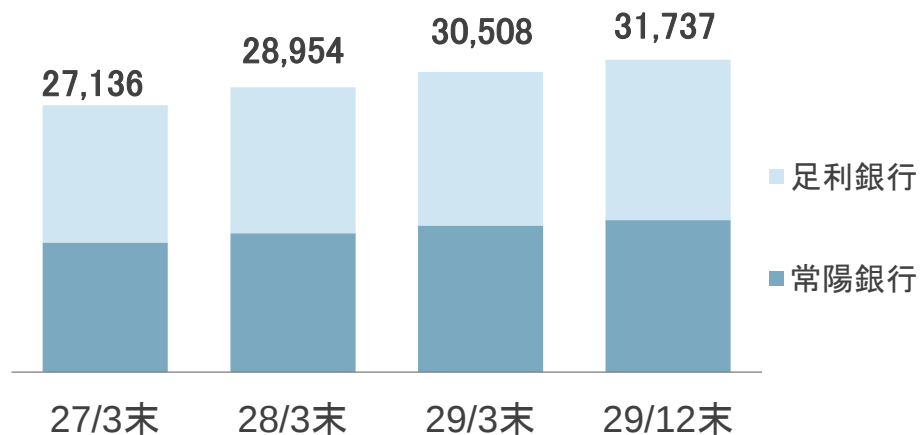
2

3

4

住宅ローン残高

(単位: 億円)



預り資産 積立商品

NISA、iDecoなど、
お客さまの中長期的な
資産形成ニーズにお応え

*iDeco(イデコ): 個人型確定拠出年金

積立商品



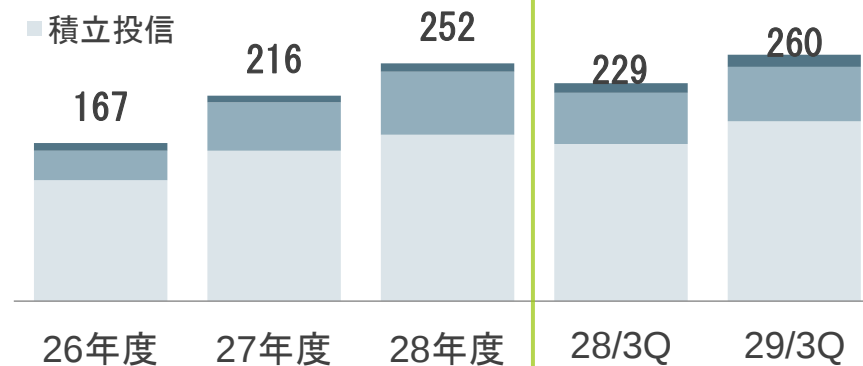
新商品の導入



2行合算の積立額

(単位: 億円)

- 外貨預金
- 平準払保険
- 積立投資



法人のお客さま

1

2

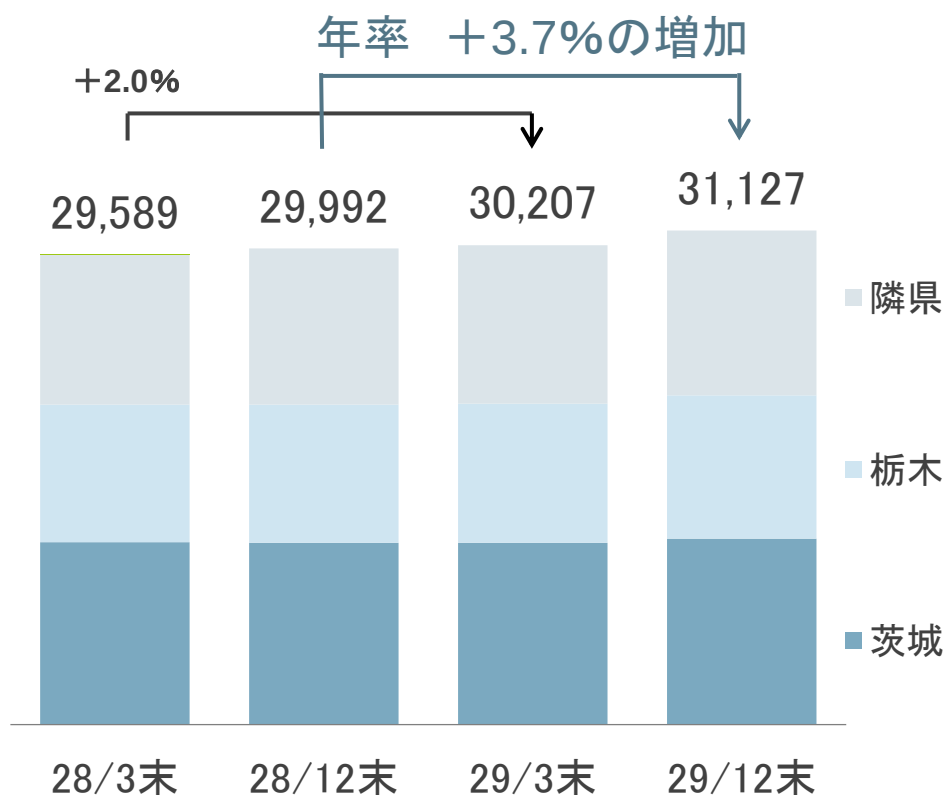
3

4

貸出金の残高推移 | 2行合算

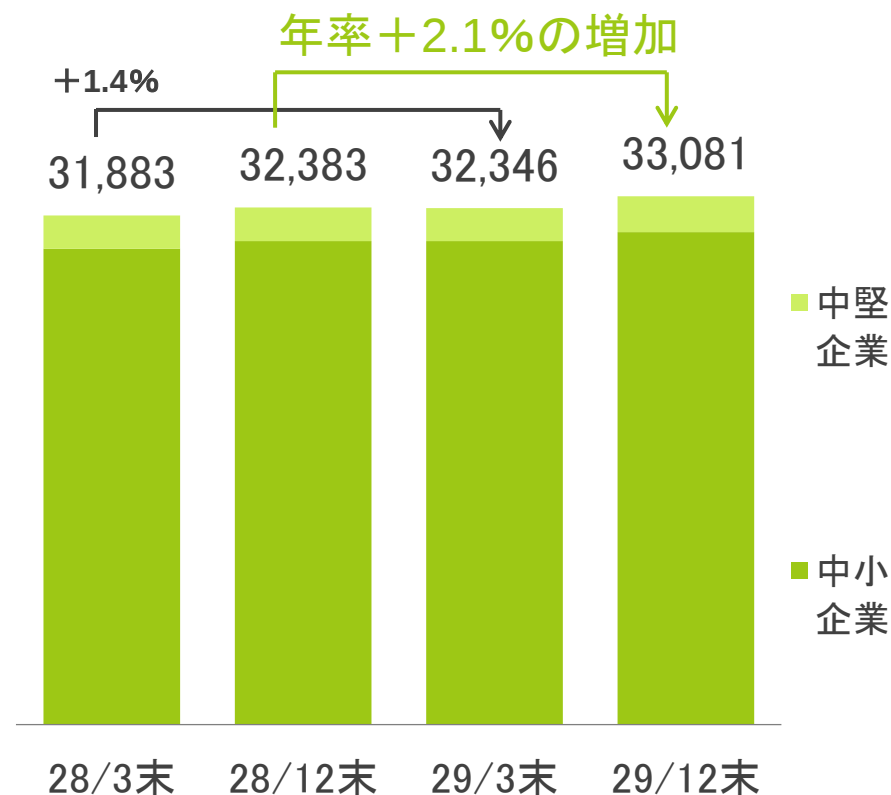
地元貸出金

(単位: 億円)



中堅・中小企業向け貸出金

(単位: 億円)



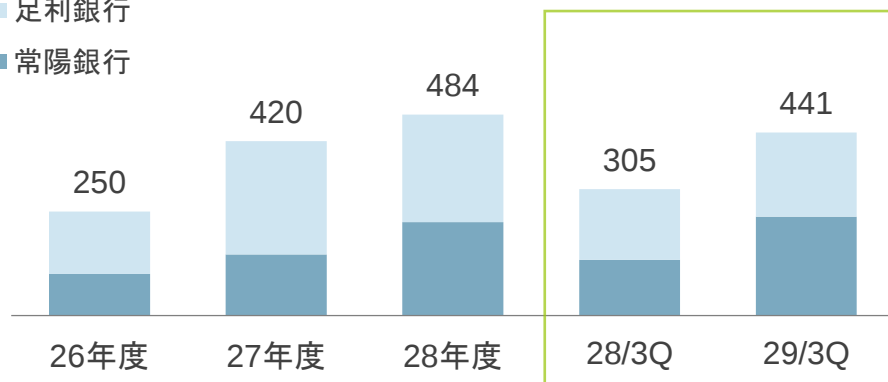
法人のお客さま

1 2 3 4

私募債発行

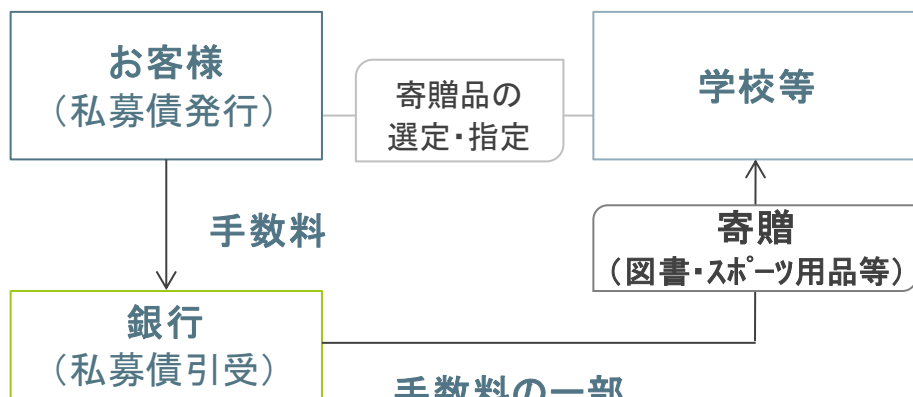
(単位: 億円)

■ 足利銀行
■ 常陽銀行



寄贈サービス付私募債 (29年12月末累積実績: 228億円/259件)

お客様とともに、学校環境の整備をつうじて、地域社会へ貢献



手数料の一部

28年7月の取扱い開始より、2行合算で
総額4千万円を超える寄贈を実施

事業承継・M&A

後継者の有無などに応じて、事業承継の方向性を共に考え
ソリューションを提供

取引先の円滑な事業・資産承継、雇用維持をサポートすること
により、地域経済の持続的发展に貢献

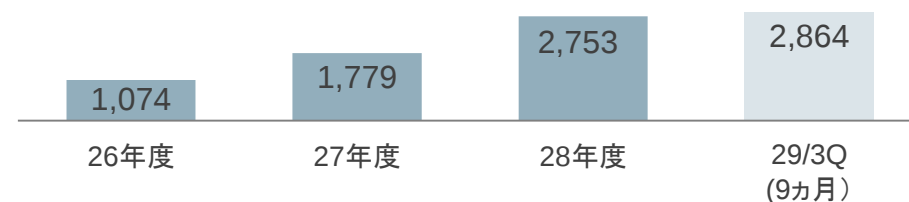


親族の承継

従業員の承継

M&A

事業承継・M&Aの提案先数(2行合算)



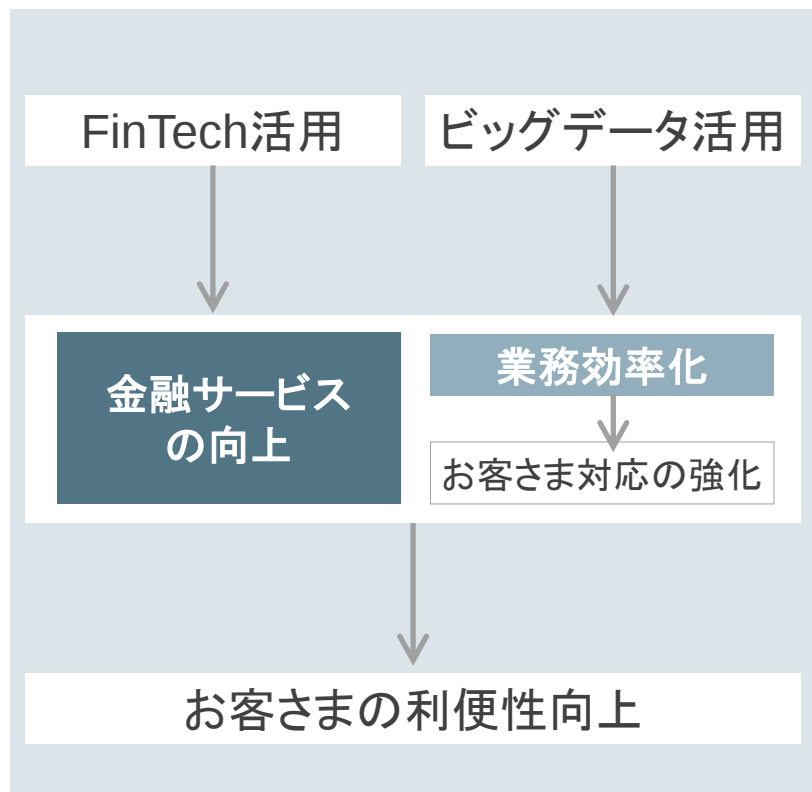
茨城県・栃木県内でM&A等を選択する見込みのある企業数: 約2万社

* 中小企業庁統計表一覧・帝国データバンク公表資料等により当社推定

ITを活用したお客さまの利便性向上

1 2 3 4

IT活用により、金融サービスの向上、お客さま対応の強化をはかる



決済	 スマートフォン小口決済
ご預金	 口座開設アプリ インターネット支店機能拡張
	 通帳アプリ インターネットバンキング
お借入	 マイカーローン申込ネット完結 住宅ローン借換ネット申し込み
資産管理	 資産運用提案 ロボアドバイザー
	 家計管理アプリ マネーツリー「一生通帳」
お客さま ニーズ の発掘	 データ分析 マーケティング・商品提案・自動審査等
	 AIの活用

業務 効率化	店頭受付ナビゲーション
	渉外活動BPR
	本部事務効率化・RPA
	本部集中・ペーパーレス

業務の効率化

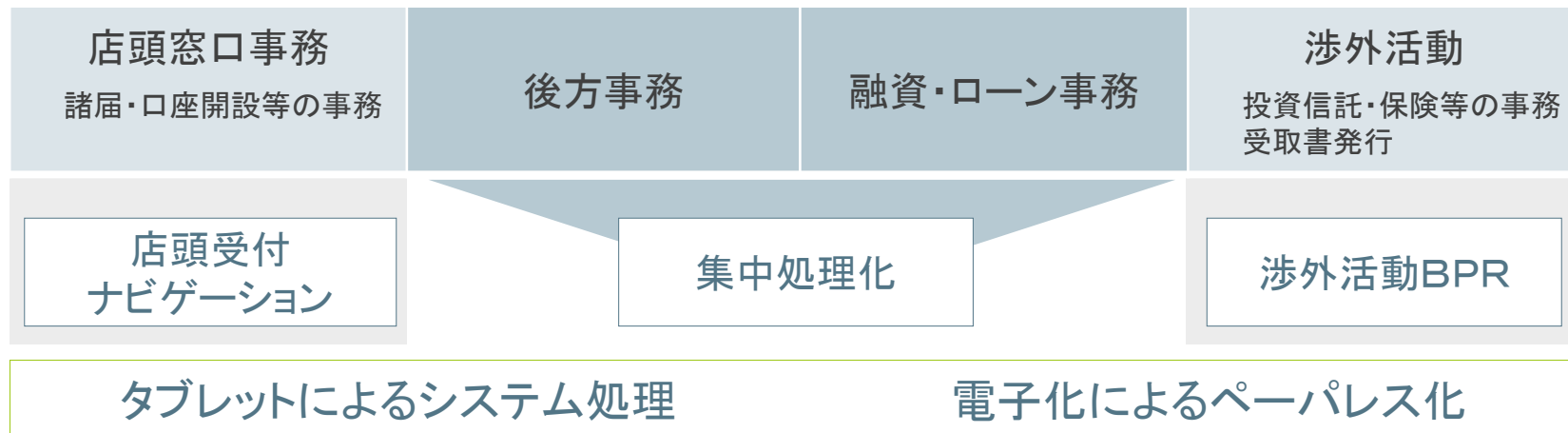
1

2

3

4

オペレーションの革新により捻出した経営資源を、お客さまの満足向上に資する分野に投下



店頭受付
ナビゲーションシステム

期待される成果

お客さまの利便性向上

営業時間の拡大

営業人員の増加

店頭待ち時間削減
入力手続の簡素化 等

コンサルティング時間の確保

お客さま対応人員の増強

店舗の効率化と付加価値向上

1

2

3

4

29年12月末現在

店舗運営の効率化とお客様の利便性向上

店舗効率化 (経営統合(28年10月)以降)

経営統合に伴う店舗統廃合(重複エリア見直し)

常陽 | 1支店、1出張所を統合(店舗内店舗化)

足利 | 古河地区の再編 1支店、3出張所、
1ローンセンターを古河支店に集約

経営統合以外の店舗統廃合

常陽 | 2支店、1出張所を統合(店舗内店舗化)

足利 | 1支店、1出張所、1ローンセンターを同一店舗に移転

ATM共同利用

常陽銀行・足利銀行のATMの相互利用
(手数料、ポイント優遇等の自行同一化)

利用しやすい店舗づくり お客さまの利便性向上

土日営業する店舗を導入

TV電話の活用

インターネット支店 など

その他の店舗運営効率化

店舗軽量化、個人特化店化

効率化出張所等の設置

一部の出張所で昼休業の導入

ATMの相互利用



TV電話



土日営業店舗



めぶきリース・めぶき証券

1

2

3

4

めぶきリース

29年4月 常陽リースから「めぶきリース」に商号変更。
FGの100%出資子会社化。

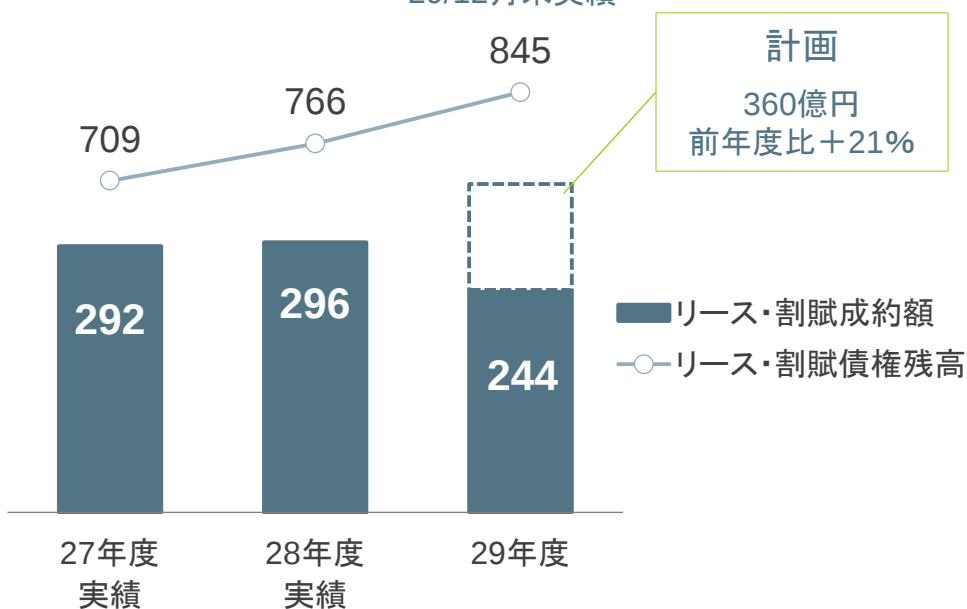
グループ内のリース事業の再編（一本化）

栃木県内の営業体制強化
（宇都宮・足利・小山の3営業部体制に）

リース・割賦債権

（単位：億円）

29/12月末実績



めぶき証券

29年4月 常陽証券から「めぶき証券」に商号変更

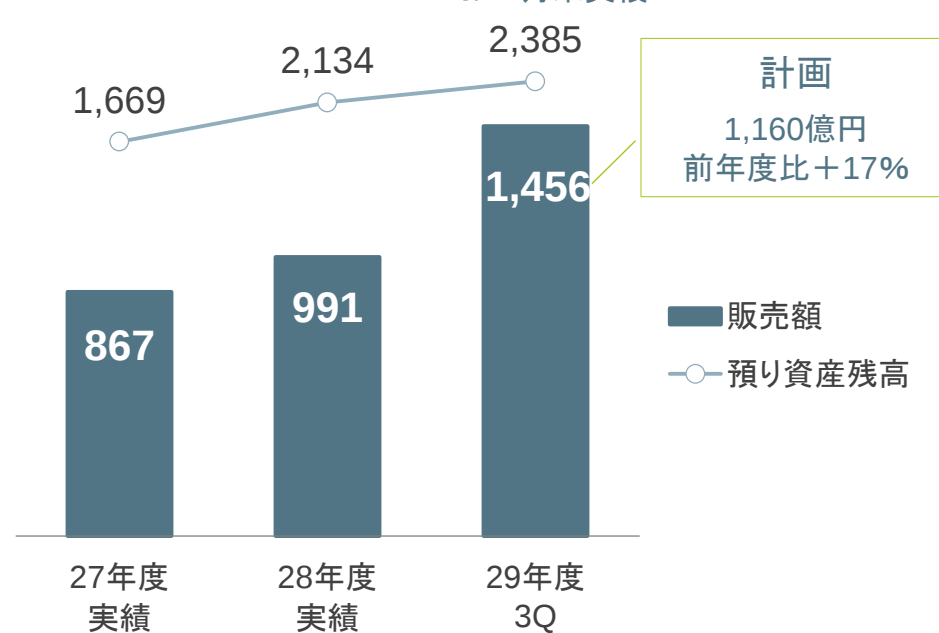
足利銀行との金融商品仲介業務を、
従来の13店舗から128店舗に拡大。

29年10月 FGの100%出資子会社化。宇都宮支店を開設。

預り資産

（単位：億円）

29/12月末実績



事業戦略に基づいた施策・シナジー実績

1

2

3

4

(単位: 億円)

事業戦略に基づいた施策実施

広域ネットワークを活用した情報営業の強化

めぶきリース機能の相互活用

預り資産の推進ノウハウの共有

めぶき証券機能の相互活用

両行の投資経験を活かした新領域への投資

共同投資の取組み

重点地域における人員増強

足利銀行における新商品(特約付外貨預金等)の取組み

経費削減ノウハウ、費用対効果手法の共有

店舗運営効率化のノウハウ共有

(減価償却費、ランニングコストの増加)

29年度 PL上の効果

通期
計画

3Q迄
実績

進捗

貸出金・法人役務

10.3

9.5

92%

預り資産

8.5

6.5

76%

有価証券

7.0

4.9

71%

その他(チャネル・市場国際等)

2.5

8.7

341%

経費削減

3.0

5.9

198%

コスト増加・逆シナジー

△3.7

△3.8

-

シナジー合計

27.7

31.9

115%

30年度 通期計画

+50 億円

33年度 通期計画

+150 億円

*PL上の効果は税引前の数字。

1. めぶきFGについて

2. 事業戦略

3. 業績予想・株主還元

4. 地域貢献ほか

29年度業績見通し

1 2 3 4

資金利益・有価証券関係損益が当初予想を上回る見込みとなったこと、経費が減少する見込みであること等から見通しを上方修正

連結経常利益 625億円(修正前 585億円比+40億円) 連結純利益 * 425億円(修正前 400億円比+25億円)

* 親会社株主に帰属する当期純利益

めぶきFG連結

	29年度第3四半期		業績予想(通期)		
		進捗率	修正後	修正前	増減
経常利益	571	91.5%	625	585	+40
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	388	91.4%	425	400	+25

29年度見通し

	修正後	修正前
ROE	4.8%程度	4.6%
OHR	63%程度	63.8%

2行合算+銀行業以外のグループ会社

(億円)

	29年度第3四半期		業績予想(通期)		
		進捗率	修正後	修正前	増減
四半期(当期)純利益	458	89.9%	510	480	+30

2行合算(単体)

	29年度第3四半期		業績予想(通期)		
		進捗率	修正後	修正前	増減
経常利益	619	90.4%	685	640	+45
四半期(当期)純利益	426	90.6%	470	440	+30

常陽銀行(単体)

	29年度第3四半期		業績予想(通期)		
		進捗率	修正後	修正前	増減
	342	92.5%	370	335	+35
	235	92.4%	255	230	+25

足利銀行(単体)

	29年度第3四半期		業績予想(通期)		
		進捗率	修正後	修正前	増減
	277	87.9%	315	305	+10
	190	88.5%	215	210	+5

自己資本比率

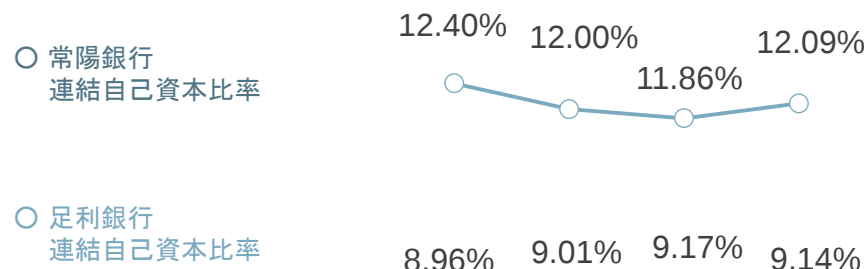
1

2

3

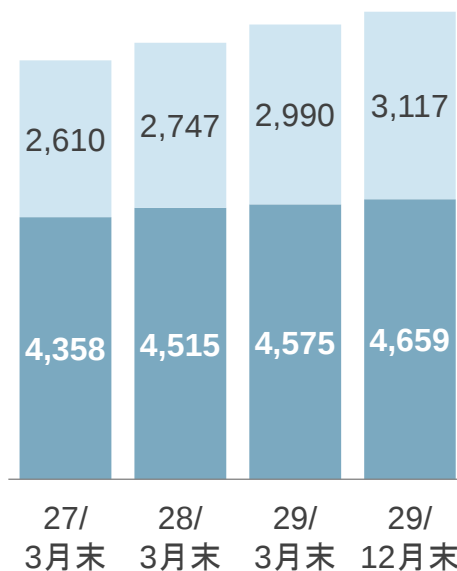
4

常陽銀行・足利銀行 | 連結



■ 足利銀行
連結自己資本
(単位 億円)

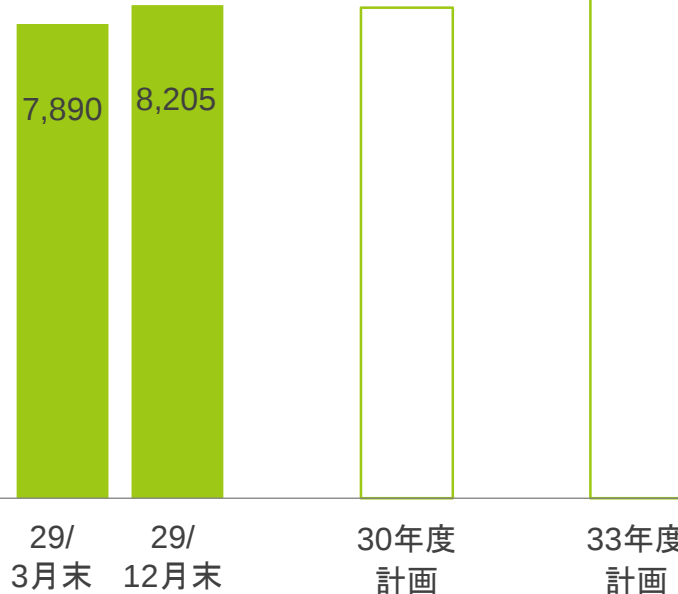
■ 常陽銀行
連結自己資本
(単位 億円)



めぶきFG | 連結



■ めぶきFG
連結自己資本
(単位 億円)



株主還元 | 配当政策/株主優待制度

1

2

3

4

配当政策

グループとしての成長に向けた資本の確保と、株主さまへの適切な利益還元のバランスを考慮し、安定配当を目指す。

29年度の配当は、配当政策を踏まえ年間11円を予定(配当性向 30.4%)。

1株あたり配当 | 29年度予定

年間配当	中間配当	期末配当
11.0円	5.5円	5.5円 予定



株主優待制度

対象

毎年3月末日時点で1,000株以上をお持ちの株主さま

内容

地元特産品等を記載の専用カタログから、保有株式数に応じてお好みの特産品をお選びいただけます。

株主優待制度の概要

保有株式数	特産品 金額目安	アイテム数
1,000株以上 5,000株未満	2,500円相当	茨城・栃木両県の特産品を中心に 488アイテム 各コースアイテム数合計 〔平成29年度実績〕
5,000株以上 10,000株未満	4,000円相当	
10,000株以上	6,000円相当	



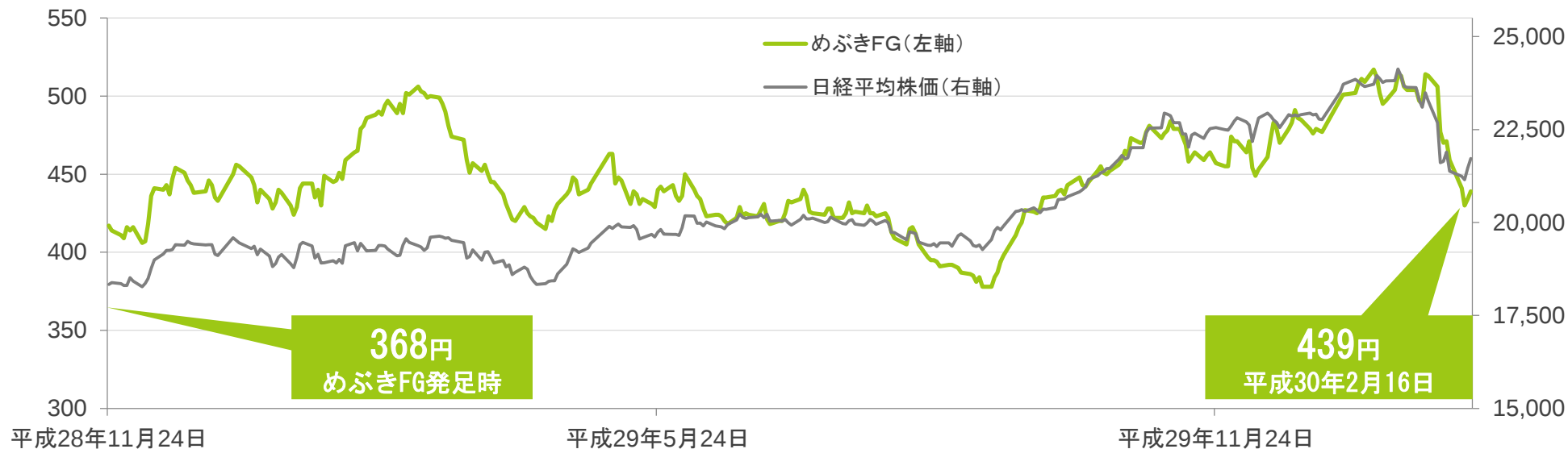
株価の推移

1 2 3 4

配当利回りは他行比で高い水準

めぶきFG株価推移

(単位：円)



株価指標（地方銀行・グループの時価総額上位5社）

(平成30年2月16日時点)

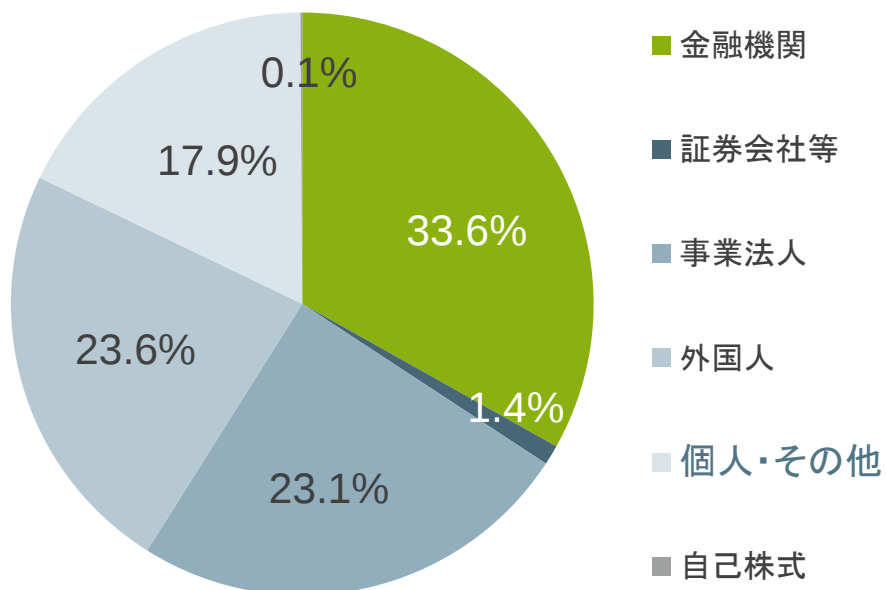
	株価	時価総額	配当利回り	PBR	PER
コンコルディアFG	611円	7,867億円	2.29%	0.66倍	12.33倍
千葉銀行	891円	7,800億円	1.68%	0.73倍	13.33倍
静岡銀行	1,099円	7,089億円	1.82%	0.65倍	14.35倍
ふくおかFG	568円	4,883億円	2.64%	0.64倍	9.95倍
めぶきFG	439円	5,176億円	2.51%	0.56倍	12.17倍

（ご参考）株主の状況

1 2 3 4

株主構成

（平成29年9月末現在）



大株主の状況

（平成29年9月末現在）

株主名	持株数 (千株)	持株比率	持株比率 29/3月末比
野村フィナンシャル・パートナーズ株式会社	122,900	10.42%	-
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	45,398	3.85%	Δ0.06%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	42,174	3.57%	+0.30%
日本生命保険相互会社	34,487	2.92%	-
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	33,085	2.80%	+0.40%
株式会社三菱東京UFJ銀行	28,073	2.38%	Δ0.49%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	24,975	2.11%	Δ0.12%
STATE STREET BANK ANDTRUST COMPANY 505223	24,174	2.05%	Δ0.05%
住友生命保険相互会社	21,659	1.83%	-
第一生命保険株式会社	19,948	1.69%	-

1. めぶきFGについて

2. 事業戦略

3. 業績予想・株主還元

4. 地域貢献ほか

地域創生への取り組み

1 2 3 4

地域経済活性化に向けた各種イベントを積極的に展開

農業分野支援



地域産品の開発から販売に至るプロセスにおいて、それぞれの分野に応じた施策を展開

「おいしさ向上品評会(28年10月)」

「食品加工技術商談会
デコ・ボコ マッチング(29年9月)」

「食の商談会(30年1月)」

ものづくり企業フォーラム「技術商談会」



地元ものづくり企業の事業支援を目的とし、地銀最大級の規模で開催

事前作成の技術提案書をもとに、予約商談・パネル展示商談を実施

ものづくりのヒントとなるデモンストレーションや、これまでの受賞企業によるプレゼンを実施

第2回めぶきビジネスアワード(29年11月～)



両行の営業エリアに潜在する革新的・創造的な事業プランを募集・表彰

事業プランの作成・事業立ち上げに至る一貫した支援を展開

大学発ベンチャー創出のために「GAP基金」の枠組導入(29年11月)

めぶき地域創生ファンド

組成額
40億円



両行および損保ジャパン日本興亜等が出資する新事業創出支援ファンド

地域経済の発展に資する事業を行う中小・中堅企業に出資・経営支援

実績 | 1月末日現在

投資額15.5億円／合計7件

ESGの取り組み

1

2

3

4

中長期的な企業価値向上に向け、ESGに関して積極的な取り組みを実施

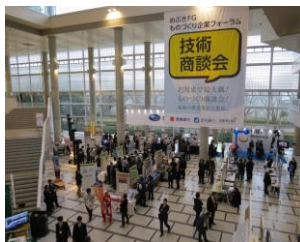
Social 社会

寄贈サービス付私募債の取扱い

地元スポーツチームへのスポンサー支援
鹿島アントラーズ、栃木SC、他

各種商談会の共同開催

企業誘致、移住・定住促進支援



アジア諸国における交流会・商談会の開催、拠点開設
ワークライフバランスの推進と生産性向上【働き方改革】
女性役職者の登用、子育て支援 えるぼし、くるみん認定
金融教育の普及 体験学習、エコミクス甲子園、各種セミナー

Environment 環境

森林保全活動 「足尾の山」「常陽ふるさとの森」植樹活動

環境・新エネルギー支援
環境格付融資、太陽光発電事業向け融資等

新築店舗の外壁や内装に地元産材を使用

環境保全団体への支援 エコーいばらき、日光杉並木保護等



Governance ガバナンス

監査等委員会設置会社
社外取締役の配置による監査・監督機能の確保

コーポレート・ガバナンス委員会の設置
取締役会の諮問機関、社外取締役を中心に構成

コーポレート・ガバナンスに関する基本方針の公表

ESGの取り組み

1 2 3 4

持続可能な社会の実現、そして地域の未来のために様々な活動を実施

金融教室

これからの時代を担う子どもたちにお金の大切さや銀行の役割などについて学んでいただく「金融教育」に取り組んでいます。



貨幣の歴史やお金の上手な使い方などの紹介のほか、人型コミュニケーションロボット「PALRO（パルロ）」を使った講義など、楽しみながら学べる金融教室を実施しています。



防犯ブザー寄贈



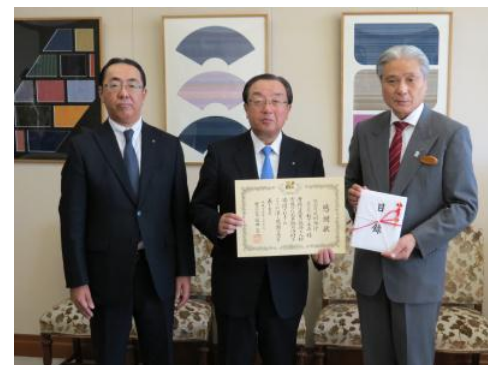
地域貢献活動の一環として、平成17年より毎年、茨城県内および福島県いわき市内の小学校1年生に防犯ブザーを寄贈しています。

児童一人ひとりの安全と安心して生活できる地域社会の実現を願って、平成29年3月には、約2万8千個を贈呈しました。



とちぎ未来人材応援基金

栃木県内に就職する大学生・大学院生等の奨学金返還に係る助成制度「とちぎ未来人材応援基金」への資金協力を通じて、栃木県産業界を担う人材確保と地域企業の成長や地域経済の活性化に貢献いたします。



(ご参考) 常陽銀行と足利銀行の関係性

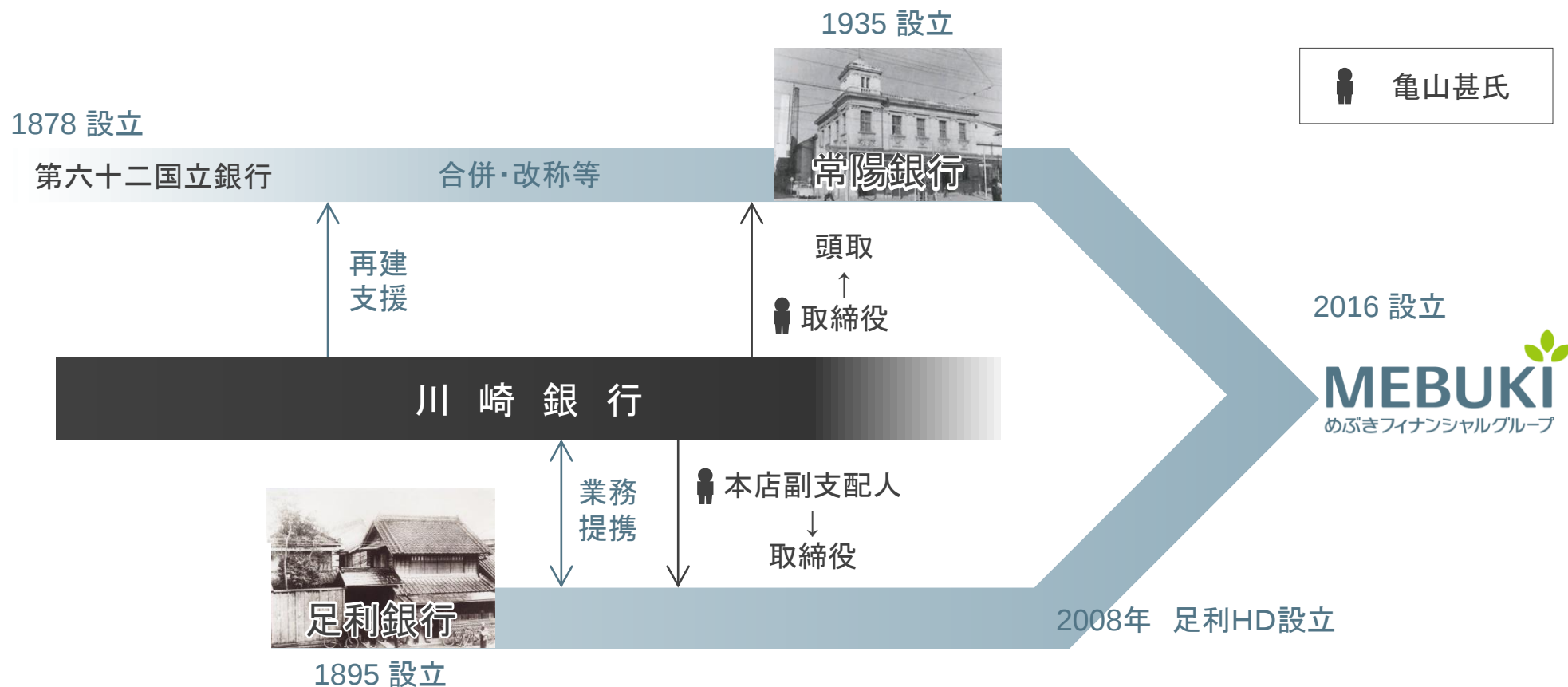
1

2

3

4

両行は設立当初より川崎銀行を通じて深い縁があった



(ご参考) ホームページのご案内

1

2

3

4

総合トップ 個人のお客さま

株主・投資家の皆さま

<http://www.mebuki-fg.co.jp/shareholder/>



業績・財務情報

株式のご案内

IRライブラリー

株主優待について

IRカレンダー

IRに関するよくあるご質問

など、随時更新してまいります。

(ご参考) 用語集

1 2 3 4

JPX400

資本の効率的活用や投資者を意識した経営観点など、グローバルな投資基準に求められる諸要件を満たした、「投資者にとって投資魅力の高い会社」で構成される新しい株価指数

企業のメインバンク調査

東京商工リサーチが、同社の企業リストから企業がメインバンクとして認識する金融機関を抽出、集計したもの。

総合金融サービス

多様化するお客さまのニーズに対して、銀行、リース、証券、iシンクタンクなどのグループ機能を有機的に組み合わせて提供する総合的な金融サービスのこと。

NISA（少額投資非課税制度）

「NISA口座（非課税口座）」内で、毎年一定金額の範囲内で購入した金融商品から得られる利益が非課税になる制度。

iDeco（個人版確定拠出年金）

拠出された掛金が加入者毎に管理され、掛金の運用により、給付額が決まる年金。加入者ごとに管理されるため、離転職の際に携帯することが可能。

FinTech

Finance(金融)とTechnology(技術)からなる造語で、ICT等を活用した金融分野での技術革新のこと。

ビッグデータ

一般的なアプリケーションでは処理が困難なほど巨大なデータの集積を指す。決済情報など、そうしたデータの集合体の分析等を通じて、事業に有用な知見の抽出が期待される。

BPR(Business Process Re-engineering)

企業活動の改善を企図して、既存のビジネスプロセスを抜本的に見直し、再構築すること。

RPA(Robotic Process Automation)

AIが反復によって学ぶ機械学習というプロセスを用い、ソフトウェアやブラウザ等を横断して業務を自動処理することで、ホワイトカラーの業務代行を担うもの。

配当性向

利益をどれだけ株主に還元しているかを示す指標(配当額÷当期純利益)。

配当利回り

現在の株価に対する、年間の配当金合計の割合を示す指標。

PBR (Price Book-value Ratio)

株価純資産倍率。株価が一株当たり純資産の何倍になっているかにより、企業の資産面から株価水準を推し量る指標。

PER (Price Earnings Ratio)

株価収益率。株価が一株当たり純利益の何倍になっているかにより、企業の収益面から株価水準を推し量る指標。

GAP基金

大学へ開発資金を供与して大学の基礎研究とビジネスの間に存在する隔たり(ギャップ)を埋めることにより、大学発ベンチャー創出や技術移転を促していく基金。

(ご参考) 用語集

1

2

3

4

寄贈サービス付私募債

発行手数料の一部で、図書やスポーツ用品、楽器等を購入し、発行者が指定する学校等に寄贈するサービスが付いた私募債。

環境格付融資

融資先企業の活動を環境面から評価し、その評価結果によって金利を段階的に変更する貸出のこと。

監査等委員会

平成26年会社法改正により新たに導入された株式会社の機関設計。過半数の社外取締役を含む取締役3名以上で構成され、取締役の職務執行の組織的監査を担う。

社外取締役

株式会社の取締役であって、現在及び過去において、当該株式会社またはその子会社の代表取締役・業務執行取締役もしくは執行役または支配人その他の使用人ではない者。

コーポレートガバナンス委員会

取締役会の諮問機関として設置され、企業統治に関わる事項全般に関して取締役会に答申する機関。

本日は、めぶきフィナンシャルグループの会社説明会にお越しいただき、誠にありがとうございました。

今後とも、株主の皆さま、お客さま、地域の皆さまのご期待にお応えできますよう
役職員一同全力を尽くしてまいります。

引き続き一層のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

本件に関するお問合せ先

株式会社 めぶきフィナンシャルグループ 経営企画部

TEL 029-233-1151(代表)

E-mail ir@mebuki-fg.co.jp

URL <http://www.mebuki-fg.co.jp/>

ご注意

本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定の有価証券等の売買を勧誘するものではありません。

本資料に記載された事項の全部または一部は予告なしに修正または変更されることがあります。

本資料には将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営を取巻く環境の変化などにより実際の数値と異なる可能性があります。